

3月10日「第36回東京都平和の日」に黙とうを ～犠牲になられた方々へ哀悼の意を捧げる～

本日、3月10日の「第36回東京都平和の日」を迎え、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表し、正午に黙とうを行います。

初宿八王子市長は、市民の皆様に向けて、メッセージを市のホームページでお伝えするとともに、市職員に向けてもメッセージを発信しました。

市民の皆様に向けた八王子市長のメッセージ（抜粋）

「東京は、先の大戦での度重なる空襲により、甚大な被害を受け、多くの都民が犠牲となりました。特に昭和20年3月10日未明の大空襲では、一夜にして10万人とも言われる尊い命が奪われました。この日を忘れることなく、亡くなられた方々を追悼するとともに、平和の意義を再確認するために、東京都は3月10日を「東京都平和の日」と定めています。

昨年、先の大戦の終戦から80年を迎え、改めて平和の尊さを考えると共に、戦時中の体験など戦争の悲惨さを語り継ぐ方々が高齢になっていることから、平和を紡ぎ、継承していくことの重要性を感じました。平和の継承を心から願うとともに、本日の「東京都平和の日」にあたり、犠牲となられた多くの方々に、深く哀悼の意を表したいと思います。」

【市長のメッセージ全文】

